

日本花きフェア in 杭州

2016年11月17日～20日

今回のフェアは、日本を代表する市場が農水省の推進する全国花き輸出拡大協議会のバックアップの下、日本の花、グリーン、園芸技術、盆栽、フラワーアレンジなどを紹介するもの。



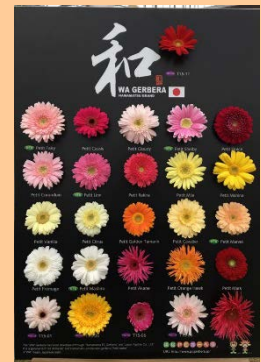
◆オープニングセレモニーでは、日本の兵庫県生花藤原社長、東日本板橋花き江川社長、世田谷花き加瀬社長、東京フラワーポート三澤社長、インパック守重社長、パーク・コーポレーション井上社長などが紹介されました。中国食品土畜産輸出入公司花卉輸出分会、中国花卉報などの挨拶に続いて、日本側を代表して日本フローラルマーケティング協会(JFMA)として松島専務理事が挨拶しました。



フラワーデザイナーの野田誠氏(フラワーショップ花JUN)、中丸規弘氏によるブライダルブーケの制作。



17種類 約65品種を展示、バラ、グロリオサ、デルフィニューム、リシアンサスなどなど



浜松PCガーベラのシャガールも・・・



この日本花きフェアが、中国、日本の花き産業の更なる発展のためのスタートとして第一回目。この展示会の開催には杭州伝化の顧問西村氏のご尽力があったからこそ。

17日18日は花関係者。19日20日は一般お客様が来場。

会場では花の人気投票やセミナーも開催。報告は来月号でたっぷり行います。

初日は、12時半から、松島専務理事のセミナー。内容は、JFMAの紹介、日本花き産業の構造、課題、その中でJFMAが果たしてきた役割を説明された。

ものすごい熱狂で、会場は満員御礼だったようです。